

広報



かわにし

平成 3 年 12/10 No.400

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)

(FAX 0257-68-3828)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き

—12月1日現在—

男 4,445 (+1)

女 4,477 (+3)

計 8,922 (+4)

世帯数 2,223 (-1)

() は前月比較



ちょっぴり戸惑いも 園児が学校で健康診断

—11月20日 千手小学校—

来年4月に1年生になる園児を対象にして、毎年各小学校ごとに就学時健康診断を実施しています。

これは、児童の知能、視力、聴力、内科などの診断をするもので、ここ、千手小学校でも41人の園児が受けました。

6年生の女子が誘導役や終わったあとの遊び相手になって、終始、戸惑いがちの園児たちの心をなごませていました。

ちなみに、来年度の新1年生は、町全体で81人です。



休日救急医

12月15日	大坪医院(四日町)	☎ 57-6100
22日	中条病院(中条)	☎ 57-3018
23日	至誠堂医院(西浦町)	☎ 52-3276
29日	大島医院(川原町)	☎ 52-2957
30日	山口医院(下条)	☎ 55-2003
31日	庭野医院(寿町)	☎ 52-2711
1月1日	大熊医院(山本町)	☎ 52-7066
2日	山口医院(袋町)	☎ 52-2174
3日	池田医院(本町西)	☎ 52-2581
5日	千手診療所(中央町)	☎ 68-2034

助役は
収入役は

南雲 守氏 田口 一朗氏 を再任

議会 報告



田口 収入役

木 落
大正15年6月4日生(65歳)



南雲 助役

中 仙 田
昭和6年3月10日生(60歳)

十一月十三日、第七回町議会臨時会が開かれました。始めに、町道山野田下平線改良工事請負契約(請負者「加賀田組・吉楽土建共同企業体」)の変更が承認され、次に、小型除雪機購入(契約の相手方「新潟スボタ」)にかかる契約変更が承認されました。続いて、十一月十四日任期満了となる助役、収入役に、引き続き南雲助役、田口収入役を選任することに同意しました。

粉じんからくらしを守ろう

●スパイクタイヤによって発生する粉じんから、住民の健康と生活環境を守るため、「スパイクタイヤ粉じんの発生の防止に関する法律」が平成2年6月に制定されました。

(法律の主な内容)

*すべての国民は、スパイクタイヤ粉じんを発生させないように努めなければなりません。

*指定地域内では、平成3年4月1日から、原則として、積雪又は凍結状態にない舗装路面でのスパイクタイヤの使用が禁止されました。

*これに違反した場合には、平成4年4月1日以降、10万円以下の罰金が科せられます。

●スパイクタイヤの使用が規制される地域(指定地域)として本県では下の[]内の市町村を除く90市町村が指定されました。

指定外の地域

栃尾市、(東海原郡)津川町、鹿瀬町、上川村、(古志郡)山古志村、(北魚沼郡)守門村、入広瀬村、(中魚沼郡)津南町、(東頸城郡)安塚町、松代町、松之山町、大島村、(中頸城郡)妙高高原町、(岩船郡)関山村、山北町、葉島浦村、(佐渡郡)柏川町、畑野町、真野町、小木町、羽茂町、赤泊村

合同しゅん工式の席上で、南雲町長(右)から表彰状の伝達を受ける田中さん



田中さんが 県農林水産業表彰を受賞

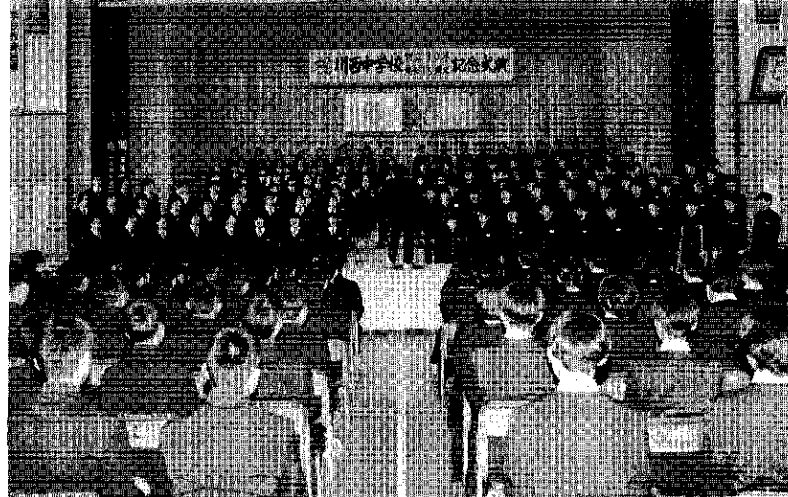
県や農林水産業団体では、「新潟県農林水産業まつり実行委員会(委員長「金子県知事」)」を組織し、農林水産業を営んでいる方々の日ごろのご苦労に感謝するとともに、県民に農林水産業に対する理解と親しみを深めてもらうため、毎年「新潟県農林水産業まつり」を実施しています。

この行事の一つとして、県内の農林水産業の振興に寄与された方々を表彰しています。これに、当町小白倉の田中武さん(76歳)が選ばれました。

田中さんは、青刈り稲の活用のため、昭和五十六年に白倉しめ縄生産組合を設立、同組合の組合長に就任、しめ縄の高収益化及び地域農業の振興に貢献。その功績が認められました。

白倉しめ縄生産組合は、家庭の主婦・老人が主体の二十人くらいで構成されており、出荷額は平成元年度に一千万円の出荷を達成。一千三百万円を目標に、通年にわたり生産をしています。現在では、素材の良さ、技術が認められて、生産が追いつかない状況となっています。

十一月十九日、総合センターで、平成三年度町合同しゅん工式が実施され、席上、田中さんに、県農林水産業功労者表彰状が伝達されました。



各学年ごとに合唱して、式典に花を添えました。
(写真は二年生です)



横山実行委員長(右)から記念品の目録を受け取る横山校長



喜びの言葉を述べる春日君

4,507人の卒業生を送り出す 川西中学校 創立30年 統合15周年

十一月十日、川西中学校体育館で、同校創立三十年・統合十五周年記念式典が、全校生徒の見守るなか、二百人ほどの来賓を迎え、盛大に実施されました。川西中学校は、昭和三十六年四月に千手中学校・上野中学校が統合して発足。以来、四十六年四月に橘中学校を、五十年四月には仙田中学校・白倉中学校を統合して、現在に至っています。

式典の中で、横山国六記念事業実行委員長は、「三十年とい

っても、その過程では多岐にわたり困難を乗り越え、一町一校の中学校として現在に至っている。町をはじめ、地域の皆様、篤志家各位、同窓会諸氏、PTA各位、新旧学校関係者各位の温かいご支援、ご鞭撻の賜物と厚く御礼申し上げ、深く感謝している。

二十一世紀を担う若人の教育の場として、町民、町政が一体となって教育環境の充実を目指し、さらに、地域の子どもと教育者としての先生方と意を一つにしてこそ、その環境が活かされる。

記念事業が功を奏し、川西中学校の栄えある伝統と川西魂を築き上げる礎としての役割を果たされんことを期待します。」と

式辞を述べました。

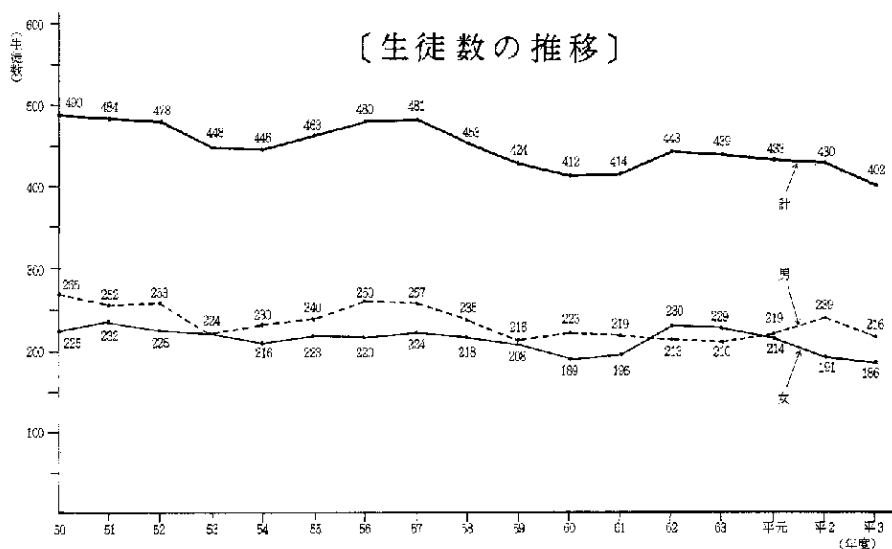
また、横山利策学校長が、「敗戦後の昭和二十二年新制中学校が発足。それからわずか十四年で千手・上野の両中学校の統合を決断し、川西中学校として新しく発足したことは、敗戦で荒廃した日本の復興は人材育成、すなわち教育の充実以外には手段がないと判断された、先人の深い洞察によるものである。三十年を経た今、改めてその先見性に心から敬意を表する。

完全統合十五年間、関係各位の絶大なお力添えにより、施設・設備など教育環境も、今や面目を一新した。教育の責務の重大さを改めて認識し、明日の時代に大きく羽ばたく、たくましく、心豊かな生徒の育成のために、精一杯精進することをお誓いしたい。」とあいさつ。

この記念式典を機に、さらに学校の施設・設備を充実させるために、

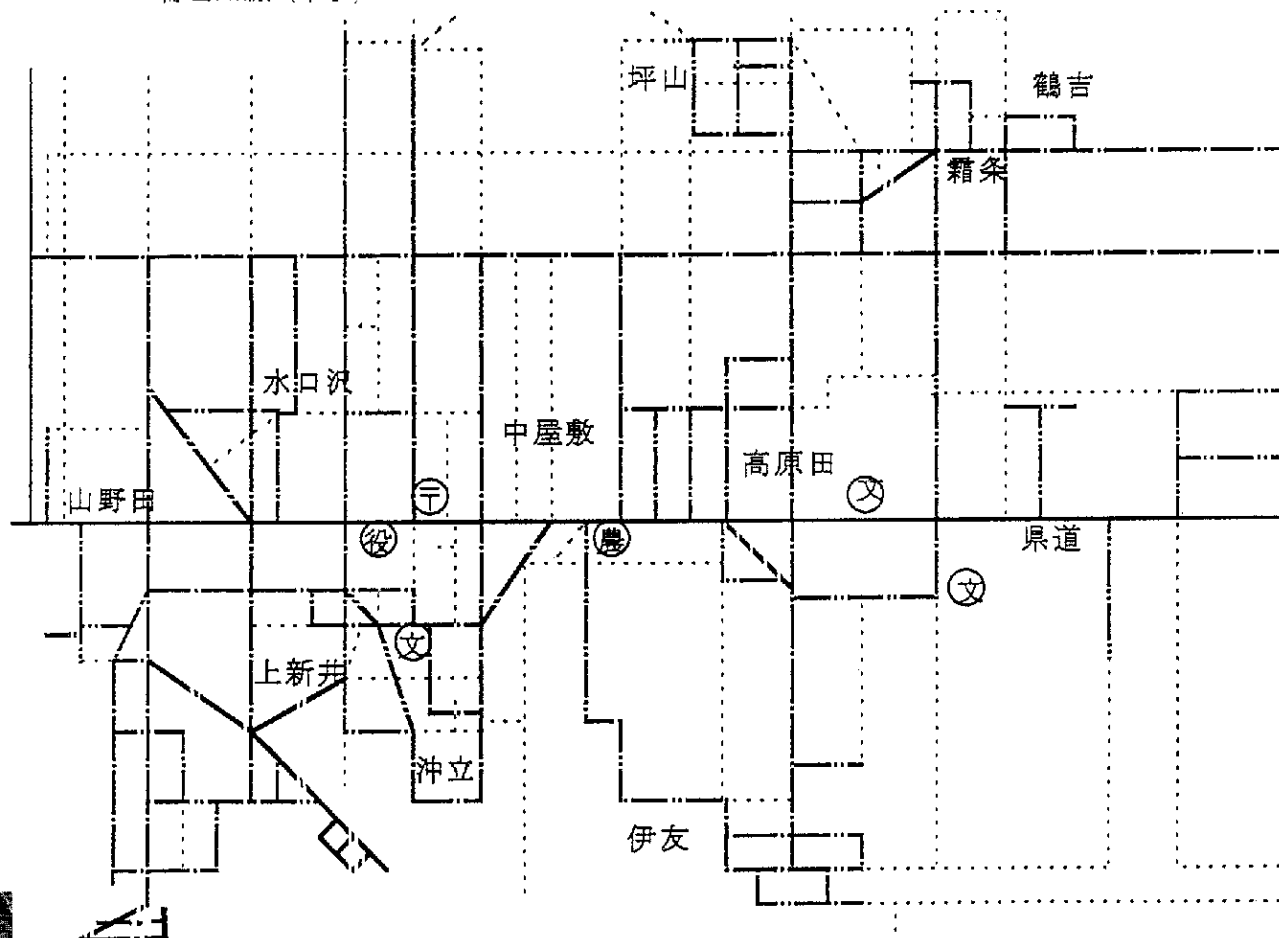
ピアノ一台、カラーテレビ・ビデオデッキ・キャスター付きスタンドを各々四台ずつ、アンプ一台、スピーカー二台、体操マット二枚、卓球台一台、審判台一台、応援団旗一式を記念品として贈呈。生徒全員に下敷き、全戸に記念誌を配布しました。生徒会長の春日敏明君が、よろこびの言葉を述べ、最後に、各学年ごとに合唱をして、記念式典に花を添えました。

〔生徒数の推移〕

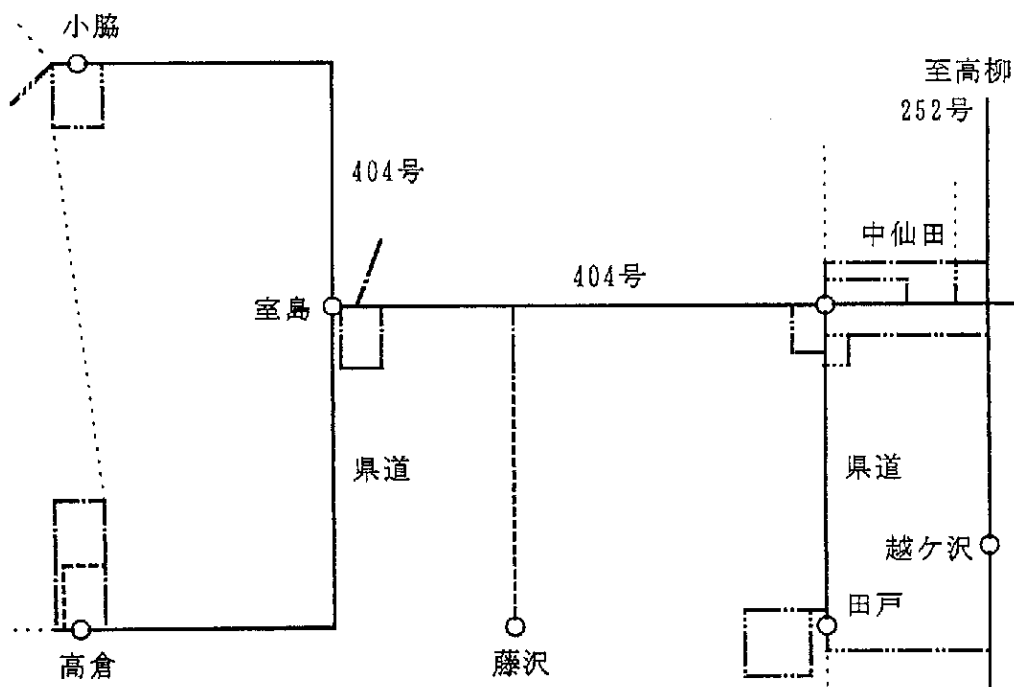


今冬の除雪計画

除雪路線（千手）



除雪路線（仙田南）

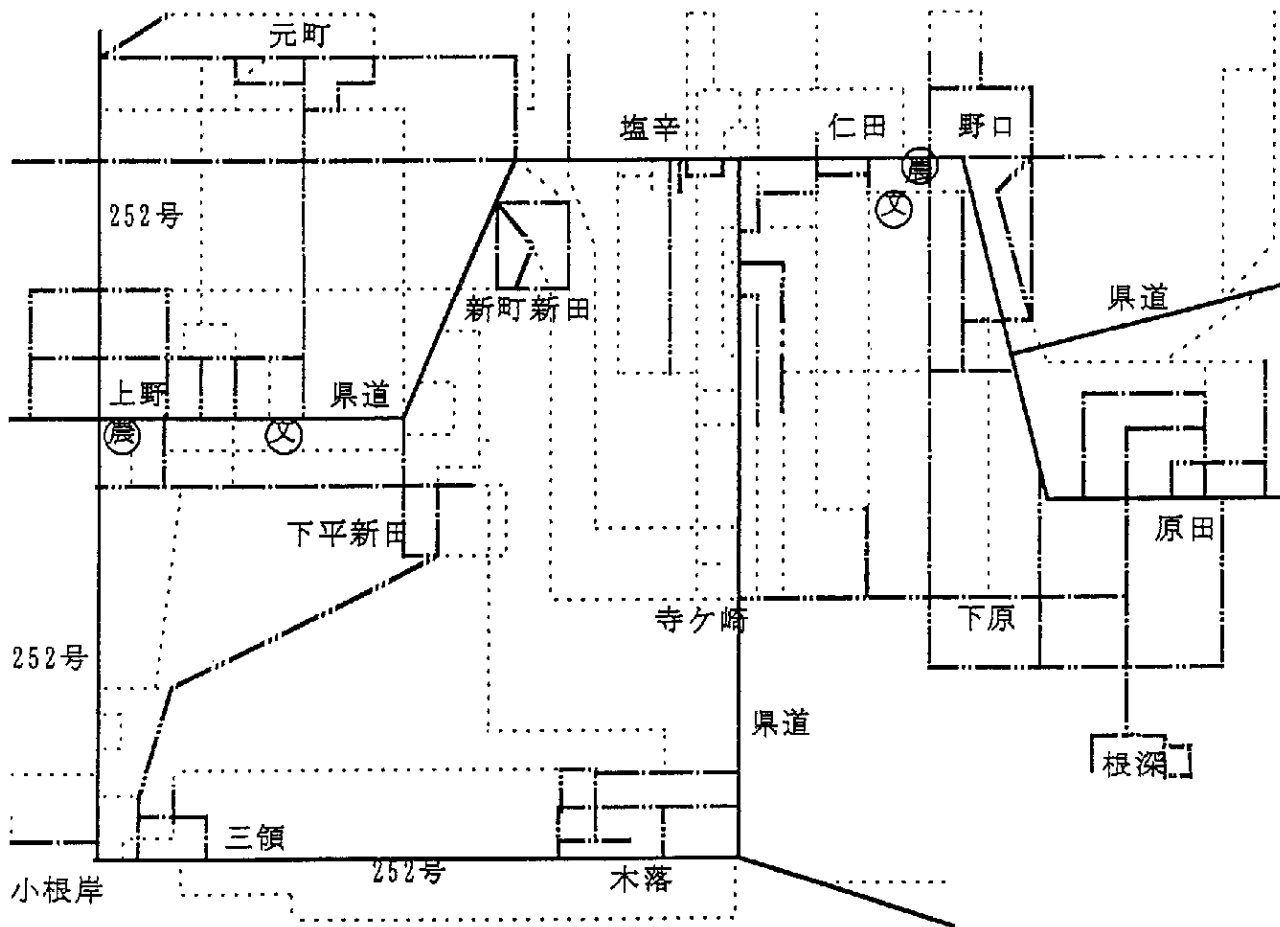


平成三年度の除雪事業は、前年度に引き続き除雪が可能となった路線を新規に組み入れ、消雪パイプ、消融雪施設を有効利用し、機械除雪を主体に実施します。

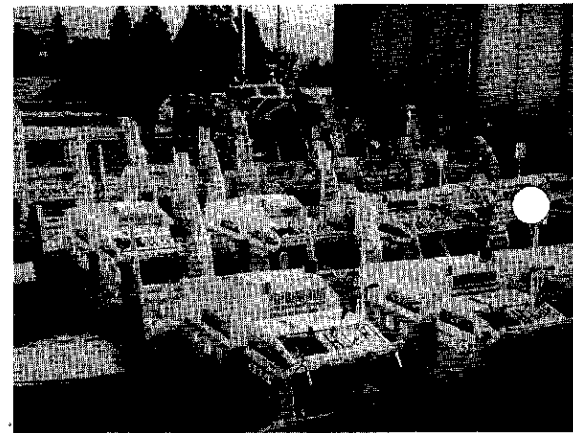
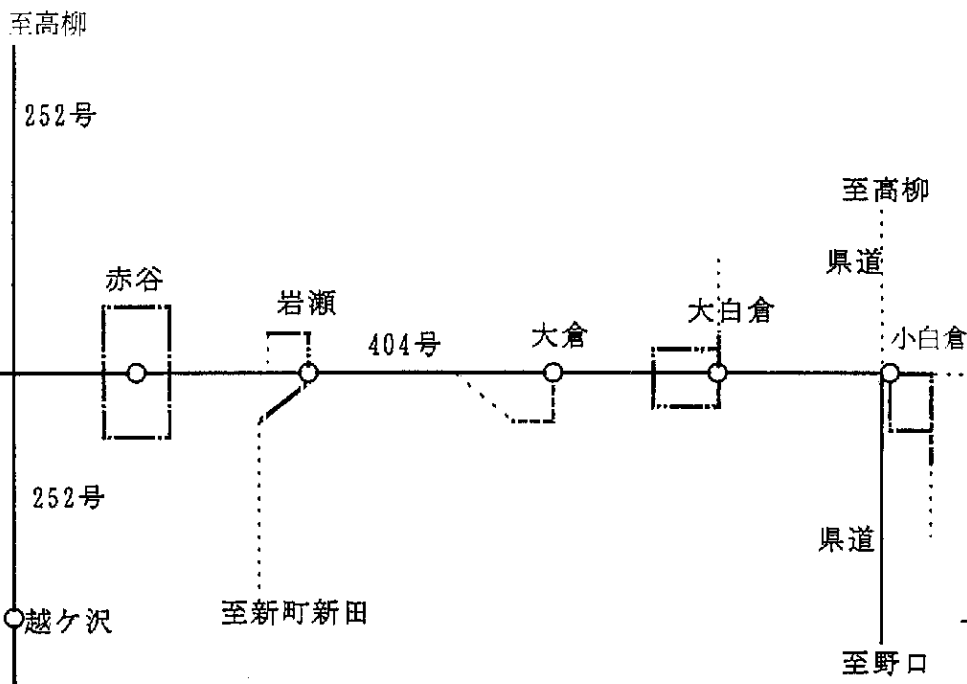
今年度、町道は二、七キロ除雪延長が延びました。また、歩道除雪や細街路除雪をするために、小型除雪機十九台を新規に購入。すでに配分も完了し、地域の協力を得て実施する運びとなりました。

—— 国県 - - - 第一種 - · - · - 第二種 - - - 圧雪 · · · · · 非除雪

除雪路線（上野・橘）

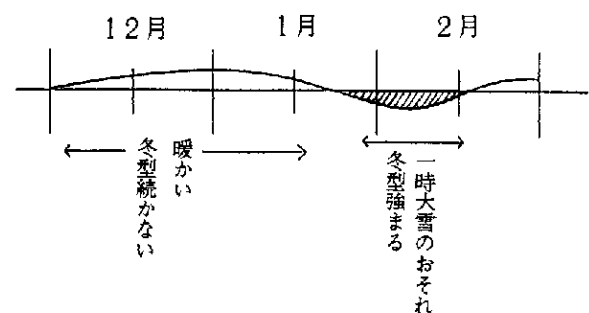


除雪路線（仙田北）



小型除雪機19台を地域に配分しました
(11・22)

おおよそのイメージ

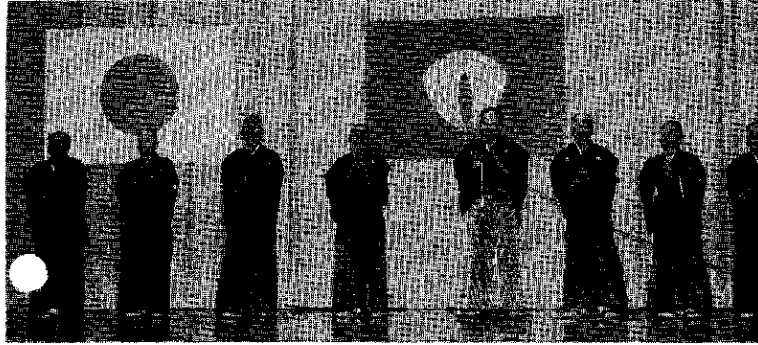


〔注〕 第一種路線 — 2車線または1車線の幅員確保を目標
第二種路線 — 1車線確保を原則とし、場合によっては
一時交通不能になる。

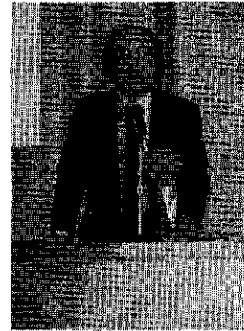
まちぐるみで 生涯学習の 推進を



表彰された小林さん（左）
と北村さん（中央）



芸能協会による天神ばやし



新井郁男さんによる
記念講演

町では、今年度から三年計画で、県の「生涯学習モデル市町村」の指定を受け、生涯学習の基盤整備に努めています。

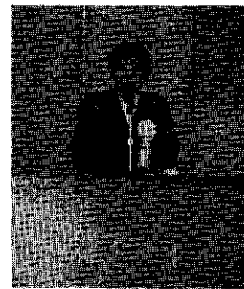
このほど、生涯学習のまちづくりを積極的に推進するため、「川西町生涯学習のまちづくり推進本部」を設置しました。

この推進本部長に南雲町長が、副本部長に南雲助役と石沢教育

長が就任。関係行政機関及び町内の各界各層から二十七人の推進委員が委嘱されています。

十一月九日、千手小学校体育館で、第一回町生涯学習推進大会が開かれました。

オープニング・セレモニーでは、町社会教育の振興に寄与した、読み聞かせの会ふきのとう（北村フミ子代表・会員二十一



実践発表をする
上村千代子さん

人）とビデオクラブかわにし（小林久良代表・会員十四人）の二団体が表彰されました。

学習実践発表会では、千手小学校音楽クラブ、シルバーサークル、芸能協会の発表と下平新田の上村千代子さんの「私と生涯学習」と題した実践発表がありました。

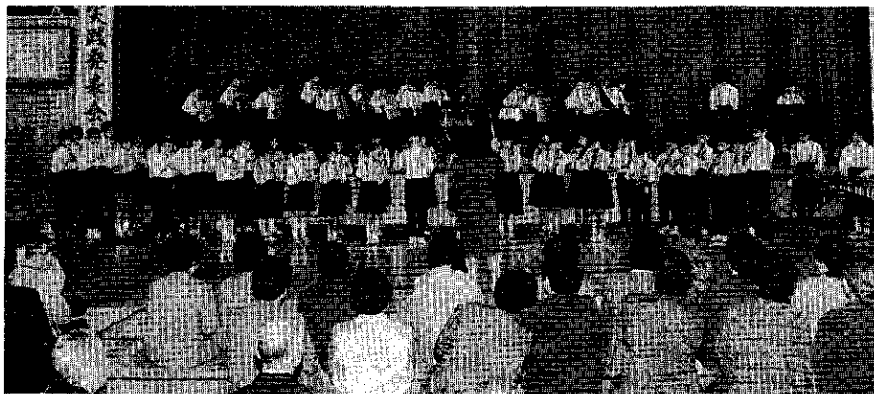
また、上越教育大学副学長の

新井郁男さんから、「まちづくりと生涯学習、生きたいを求めて」と題した記念講演をいただきました。

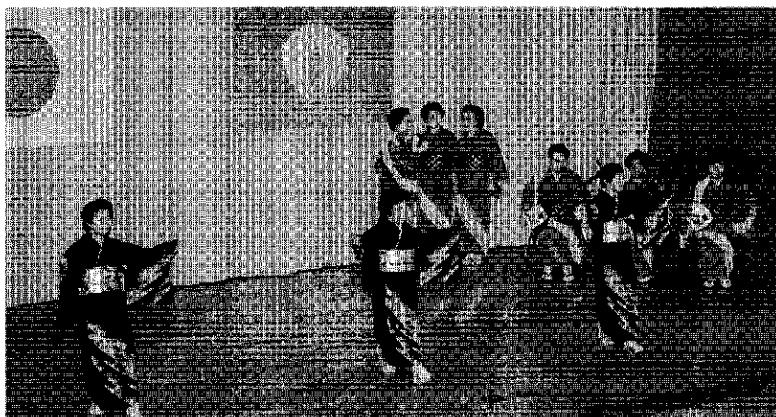
だれもが、いつでも、どこでも、生涯にわたって、自己の能力や適正、意欲に応じて学習に参加できる体制づくりを、行政も町民も一体になって考え、推進していきたいものです。



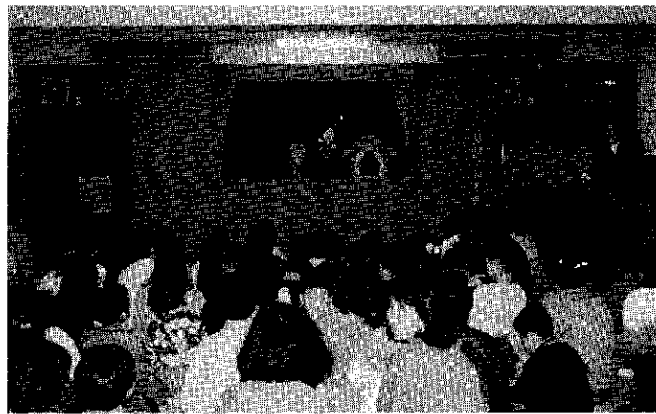
シルバーサークルの皆さんによるレクリエーションダンス



千手小学校音楽クラブによる
音楽発表



町芸能協会の皆さんによる
千手露香



人形劇「あかずきんちゃん」を上演

十一月九日、十日の二日間、総合センターほか二会場で、第一回「町民文化祭」かわにし91が開かれました。

美術展は、ことして十七回目と伝統があり、公民館作品展には、九教室・コースから、ほのぼのとした心温まる作品が集まりました。

また、「ビデオクラブかわにし」による自作ビデオの上映、読み聞かせの会「ふきのとう」の人形劇の上演、川西コンサート協会は、ピアノやフルートの音色、美しい声で集まった人たちを魅了しました。

美術展、人形劇、コンサートなど多彩な催しに、およそ千人が芸術の秋、文化の秋を楽しみました。

多彩な催し 秋を楽しむ



「ゆーゆーコンサート」町の愛好家の合唱



書道の部には55点の力作がそろいました



絵画の部は、三十七点の作品展です



手芸教室・リフォームソーイング教室の作品コーナー
押絵・パッチワークが展示



焼き物教室・写真教室の作品コーナー



最高四百倍の天体望遠鏡
めずらしそうにのぞき込む姿もありました



手芸コースの作品コーナー

広報かわにし四百号

岩瀬 金子 幸 作

教委が広報を出す

広報かわにしがいっしょに四百号に達したことを知り、第一号が発刊されたころを思い、まことに感慨無量である。

旧町村の時代には、上野村広報、公民館報たちばな、仙田村広報の三紙が発行されていた。

川西町が誕生すると、公民館運営審議会や社会教育委員の会議で、広報と公民館報のどちらで発行するか問題になったが、結局、教育委員会で町の広報を発行するという変則的な形になり、「金子、お前やれ」という命令を受けた。

中村町長の決裁

毎月発行のつもりで中村町長に決裁を仰いだら、「ああ、広

報を出すがんな大事だこつお

だもノシ、毎月てがんな容易

でなくてダメだぜ、お前さん、

あれもこれもしられるかい、ひ

と月おきにして十五日に出さ

しやれ」といわれ、計画をねり

直した。数日後、みごとな題字

と発刊のことばを書いてくださ

り、馬場議長と高橋教育長も祝

辞を、須藤茂一氏は新庁舎に夢

を託す詩をよせてくださった。

広報を出す話が伝わると、郡

市内や近郊から指名願が殺到し

たが、町の業者にとりう方針で

白南風社に委託し、以後は太田

長栄氏や高崎さんご夫妻と長い

交際が続くことになった。失礼

ながら、当時はガリ版よりはま

しなタイプ印刷できれいとはい

えなかったが、それでも町のみ

なさんは読んでくださった。

川西小唄でさる

一万五千人のみなさんに町政の周知のほか、社会教育の見地から地区のゆと和、親ばくをはかり、冠婚葬祭の簡素化や生活の合理化、民主化を学んでいたかなければと考えた。

固くなりがちな紙面に、田中与三郎氏が寄せた川西小唄を佐藤茂夫氏が作曲し、荻野敏夫氏が編曲し、この歌に保坂国夫氏が振付をして、だれにも愛される川西小唄が普及していった。

昇天：うぶ声・たかさご

第一号を発刊してまもなく、ふと目にした津南新聞の、「うぶ声・高砂・昇天」の欄に感服し、このアイデアをいただいて数藤信善氏にご協力を願った。

人口の動きや喜び悲しみを掲載するには毎月の発行が望ましく、中村町長に話したら「なじ

よもそうしねえかい」というこ

とで、三十四年四月から毎月十日の発行にふみきった。

「昇天は故人に非礼だ」とい

う声を耳にしたが、数藤彦三氏

や滋野定良氏らの助言に意を強

くしてそのまま採用した。「御

すこやかに、御円満に、御めい

福を祈る」が、好評の「かわに

し俳壇」と共に今も続いている

ことがうれしい。

家族的な役場

旧町村の職員を町の人たちからよく知っていたことと、「庁内めぐり」で一人ひとりの紹介を始めた。仙田村公報の時代に、儀同保氏が執筆した職員のプロ

ファイルが村の衆にうけたことから、これにあやかりたい思いで企画したことであったが、役場の機構は年々拡大し、町の人たちと家族的つながりをもつにはいたらないでしまった。

昔の役場は、町民が顔を知らない職員は一人もいなかったのに、今そうでないのは事務室がふえて職員も増加し、それだけ職場もきびしく、自治体の本分をより全うする役場になったからというべきなのであろう。

各位の協力に感謝

中村町政のスローガンは、教育文化施設の充実と産業の振興にあって、取材に当たっては、役場職員や教育関係者からなにかにつけてご協力いただいた。

学校教育は、新任女教師の花村ゆき先生に現場の課題や在り方を模索してもらい、歴史や文化

は金山良晃・名塚春二・駒形さとし、上村政基の各氏にお願い

した。町議会報告やかこみ記事は丸山精二郎氏が、産業・建設

は南雲春雄氏が、写真は押木秀治氏が協力してくださった。

広報であっても、教育委員会

で編集・発行するからには、住民の茶の間で親しまれた公民館

の使命も果たしていかなければならず、ユニークな町の話題や

教育的な記事がつい多くなって、本来の目的や性格がいまいになったきらいがある。

輝け、広報かわにし

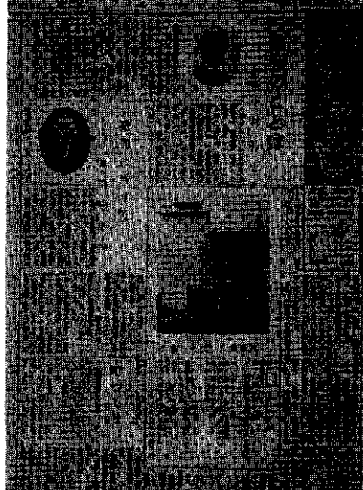
初代の編集人として三十六年の五月号まで担当したが、うち二カ月は北村準一氏のお世話になった。私のあとは星名四郎氏が四十二年十一月号まで担当した。根津町政になると編集が企画室に移り、北村準一氏が四十九年三月号まで、そのあとを小海正隆氏が受けて五十五年三月号まで編集人を勤めた。

発行が総務課に移ると、数藤春夫氏が編集人となり、南雲町政が誕生してからも六十一年の三月号まで担当、あとを受けた小川広一氏と平野勝氏が平成二年三月号まで発行し、昨年四月から登坂隆氏が編集人となってめでたく四百号をむかえた。

三という数は、広報の躍進につながるようである。第一号の発行が三十三年前の昭和三十三年で、私が三十三歳の年で、第三十三号まで担当した。三十三

といえは、厄除けや法事でめでたいものとされている。これからも、町のために三三（燦燦）と輝く広報であってほしい。

（橋医療組合は休みました）



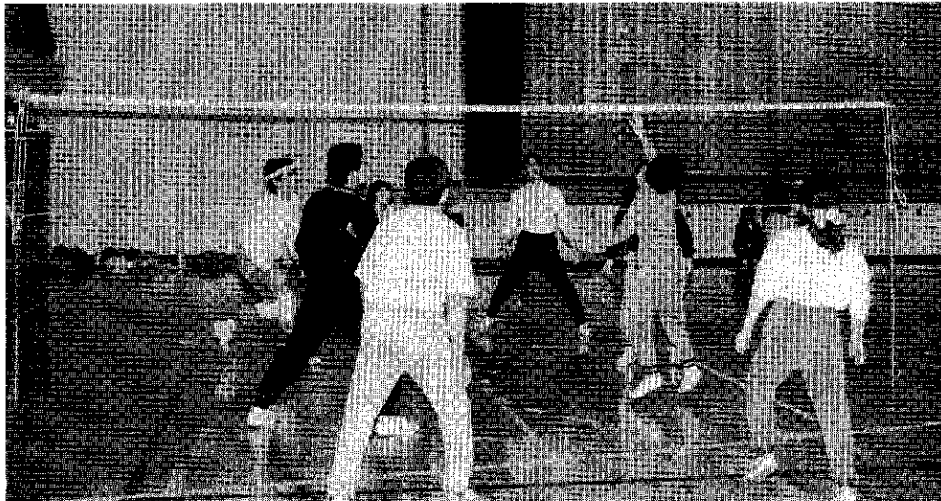
広報かわにし第1号（\$33.7.15発行）

ニュースポーツ インディアカを楽しもう



競技に使用するインディアカ、大きさは20センチくらいです

皆さんは、「インディアカ」というスポーツをご存じですか？このスポーツは、南アメリカインディアンが、とうもろこしの葉を束ねて打ち合っていたのにヒントを得て誕生。一九三〇年末にヨーロッパに紹介され、いろいろと工夫が加えられ、現



総合体育館で、第一回目のインディアカ大会が開かれました（11・15）

在のインディアカが完成しました。

バレーボールのルールを基本に、バドミントン用のネットをはさんでインディアカ（バドミントンの羽根を大きくしたようなもの）を打ち合うゲームです。簡単に紹介します。皆さんも楽しんでみてください。

◎競技の特性

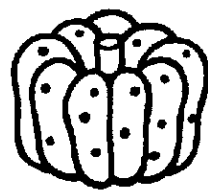
●片手で簡単に打て、突き指など、けがの心配が少ない。
●ボールのスピードを羽根が抑えるのでラリーが続きやすく、初心者でもすぐにゲームが楽しめる。

●年齢、性別、技術に応じてコートの広さ、ネットの高さなどを調節できるので、多くの人に楽しんでもらえる。

◎コートの大きさ
バドミントンのダブルスのコートと同じ（長さ13・40m、幅6・10m）

◎ネットの高さ
バドミントン用のネットと同じ、高さは1・85m。

◎人数
四対四で実施する。
◎インディアカの打ち方
ひじから先の部位でインディアカを打つ。片手、両手、手の甲、握りこぶしなどいろいろな方法でもよい。



地域全世帯で競技に参加 ジャンボカボチャ の大きさを競う

十一月四日、白倉小学校体育館を会場に、第五回白倉自慢会が開かれました。

この催しは、白倉地域の村おこし事業であるとともに、錦鯉・しめ縄・農産物の展示即売、盆



各世帯で作った自慢のカボチャが沿道に並べられました

裁・菊の展示コーナーなども設けられて、地域外からも多くの人を訪れるイベントとして知られています。

午前九時の開場と同時に、目の品を買い求める人たちが、菊の鉢植え、盆栽などを鑑賞する人やらで、体育館は大変な賑わいを見せていました。また、訪れた人には、鯉こきがサービスされ、喜ばれていました。

この催しの中で、とてもユニークなのは、全世帯からジャンボカボチャ作りをしてもらい、その大きさを競うというものです。校門の入り口に並べられた数々のジャンボカボチャはみごたえがありました。

ちなみに、ことは、九十二・六キロ（江口和人さん作）のジャンボカボチャが一位。以下、九十一・二キロ、九十・五キロとなりました。

図書室 だより

幼児絵本新刊紹介

幼児向き絵本が五千冊余り入りました。絵本を仲立ちに、親と子の心のスキンシップを図りましょう。

- いたいたいはとんでいけ 松谷みよ子
- ゆきのひ ジャックキーツ
- ちいさなヒッポ マーシャルブラウン
- きんぎょがにげた 五味太郎
- しりたがりやのこいぬとおひさま ヘルツイーコバー
- ゆきみち 梅田俊作
- ちびゴリラのちびちび ボーンスタイン
- ボレにきたはがき 寺村輝夫
- ぼくはくまのままでいたかったのに シュタイナー
- オリバーくん ロバートクラウス
- かまきりのちゃん 得田之久
- あかちゃん123
- みんなうんち しみずみちを
- おひさまはよるどこへいくの キンズバーグ
- へそもち 渡辺茂男
- わらってよカバのはいしやさん さくらともこ
- 一〇〇まんびきのねこ ワンダガアグ
- とんとんとめてくさいな こいでたん
- はたらきもののじよせつしゃ けいていー
- とこちゃんはどこ 松岡享子

年末年始の

交通事故防止運動

12月11日～1月10日

安全はみんなの願い

ゆく年くる年

ちいさな展覧会

白倉小学校

41



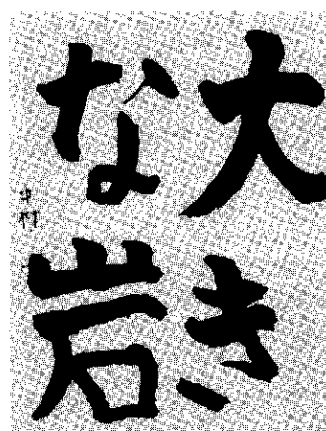
4年 片桐八千代 さん



1年 片桐美穂 さん



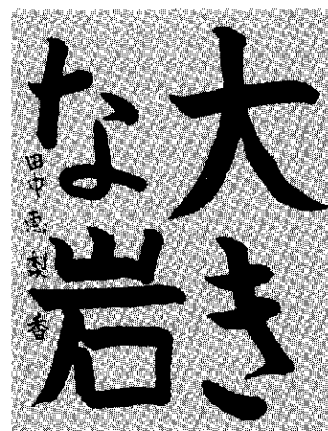
6年 江口 洋 君



4年 中村蔵幸 君



4年 桐生和久 君



4年 田中恵梨香 さん



5年 中村光宏 君

(1月号は川西中学校です)

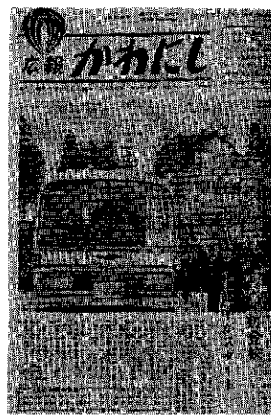
善 意

(敬称略)

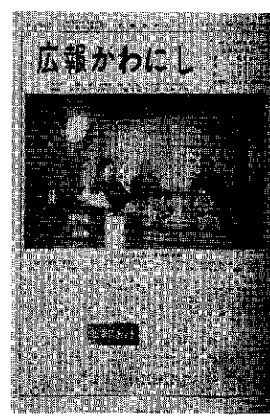
社会福祉に
西野 美枝 (練馬区) 1万円
広報発行に
岡村ふじ江 (沼田市) 1万円



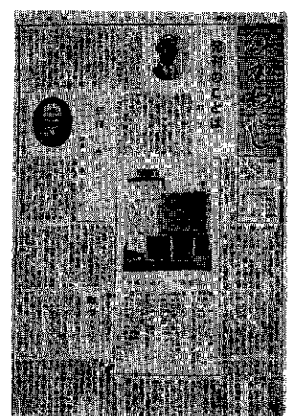
第300号 (S58.8)



第200号 (S50.4)



第100号 (S42.2)



第1号 (S33.7)

「広報かわにし」が 400号になりました

「広報かわにし」が、昭和33年7月に第1号を発行してから33年の歳月をかけ、今回で400号となりました。

これからも、皆さんのご協力をいただき、親しんで読んでいただける広報紙となるよう努力します。

皆さんからも、ご意見やいろいろの話題をお寄せいただき、紙面の充実を図っていきたくと存じます。

製本はいかが

「広報かわにし」の三百一十号から四百号までの製本をします。
ご希望の方は、保存されている広報紙を12月25日までに広報係へお届けください。実費一円千五百円ほどです。お返しします。

停電のお知らせ

12月17日(火)

山野田の一部

午後1時～3時30分

故郷のある

喜びを感じる

八王子市 松浦サクさん

(中仙田出身)



謹啓 町長様しばらくでございます。益々ご壮健でございます。毎日、本当にご苦労様でございます。公務の一つひとつに心を配っておられ、広報を繰り返して読みながら感謝致しております。過日、十月二十七日、東京高

「故郷の便り」

広報を待つ

沼田市 岡村ふじ江さん

(岩瀬出身)

いづしか秋冷の候となりました。ごぶさたしておりますが、皆さんお変わりはないでしょうか。お陰様で、私もうやら変

田寺でのふれあい広場の案内とくじ券まで送っていただき、自分で都合が悪くて行けなかったのも、赤羽の弟夫婦に早速行ってもらいました。

夕方電話がきまして、「行ってきましてよ。懐かしい川西町の青年方がモチをついていて食べてきましたよ。漬け物やら、ちまきやら買って、アンプも買ってきて、今食ってるがんぞお」ということで、電話の中で笑い合いました。故郷のない人は、こんな楽しい話し合いは味わえないと思います、皆々様の温かい真心がひしひしと伝わり、うれしく思いました。

町づくりに頑張るライオンズクラブの奉仕も素晴らしい働きで、この美化運動は、住む人全員で実行できるといいですね。

町づくりに頑張るライオンズクラブの奉仕も素晴らしい働きで、この美化運動は、住む人全員で実行できるといいですね。

町づくりに頑張るライオンズクラブの奉仕も素晴らしい働きで、この美化運動は、住む人全員で実行できるといいですね。



わりなく明け暮れております。「広報かわにし」を毎月送っていただき、懐かし故郷の様子を伺うことができ、待ち遠しくうちに喜んでおります。失

秋晴れの庭で、モミガラからポツポツと煙が出て、サツマイモが焼けるにおい、それを樂しうに待つ園児の顔は田舎ならではの良きで、幸福ですね。

健康増進の文化・スポーツ大会も素晴らしい発展振りで、知人に広報を見せて、うらやましがられております。

日増しに寒くなります。時節柄、町長様始め皆々様、何卒お体を大切にされてくださいませ。

追記「健康の本から」
塩でこすると、痛みも冷えも治る(私も実行しています)
おふろに入ったとき、足の上から先まで、前と後ろに手で塩をぬり、何回も軽くこすりま

塩をおとして温まって、ふろから上がって寝ると、足がポカポカと温まって冷えが治ります。

礼とは存じながら、気持ちを同封いたしました。

私は、十月九日に群馬県新治村法師に引越すことになりました。第一スキー場の所で、温泉宿まで三百メートルたらずです。昼間は一人でおりますけれども、夜になると三男泉が泊りにきてくれます。

どうぞ、機会を作って、入湯がてらお出掛けください。お待ちしております。

戸籍の窓から

うぶ声 おすこやかに

丸山 奈穂 千華子 二女上町

丸山 直純 安子 長男木島

阿部 直朗 謙枝 長男木島

村越 真弓 益男 長女野口



かわい 俳壇

太田白南風選

黄落の舞う中に在り実を拾う

小白倉 江口みゆき 返り咲く都わすれの濃むらさき

仁田 小幡しん女 出稼きの夫を送り冬仕度

板橋区 田中 優美 布団下す日の温もりをたたみけり

伊勢原市 金子 桂吉 霜踏んで蔵王のお釜見下ろせる

上野 星名 春子 一枚となりし曆の冬景色

足立区 駒形 頼太 なつかしきふるさとの柿荷の中に

綾瀬市 野沢ますえ 村の役すべて退き菜を問引く

元町 金子 鉄平 水際に座り直して菜を洗う

大倉 中条 石平 あれこれと出稼仕度初時雨

岩瀬 小川 益栄

羽鳥友紀子 賢太郎 長女木落

たかさご 円満に

入沢 克之 上野 押木 イツ子 元町から

川崎 克夫 元町 小野島 昭子 松代町から

柳 篤 下平新田 小林 真奈美 十日町市から

高橋 数昭 仁田 柳 由美子 十日町市から

冬型の予報出始め障子貼る

上野 内山 寛平

奥利根の流れの上の山紅葉

松田町 金子 君江

猪苗代中に紅葉の島一つ

八王子市 田中 ひさ

箱根路の古蹟にふれて秋日浴ぶ

中屋敷 数藤 壮一

初雪や開いそびれし実南天

高倉 斎木 和人

道の端の白きつつじの返り花

原田 根津とさ子

針の目に糸もどかし秋深み

八王子市 松浦 サク

まだ一つ囲わぬ花の八つ手かな

野口 野沢 寅生

信濃路の蕎麦の花咲き千曲川

練馬区 須藤 遊人

丹精の逸品揃う菊花展

山野田 藤田ひろ志

満月を上げて祝いし誕生日

霜条 星名 星光

山茶花や触れるも惜しき冬囲い

上町 高橋 願似

高橋 義之 神社町 十田 利美 長岡市から

昇天 一い福を祈る

渡辺 正一 55(本人) 鶴吉 高橋ランノ 58(和弘) 高原田

相崎 三好 67(本人) 沖立 田口久太郎 79(実) 木落

藤田増三郎 81(富雄) 根深 中村たけの 83(一郎) 坪山

小海長太郎 86(英吉) 霜条 渡辺 イト 92(義布) 上野

作物を皆取り込んで秋深む

木落 丸山 詩朗

小春日に残りの大豆落しけり

野口 村越 幸

魚沼に老いて幸せ春を待つ

霜条 大海 白濁

張り終えし障子これから長い冬

野口 野沢 静江

雪だより間近かとなりし氷雨かな

上野 入沢 はや

無菜漬け囲いも終り雪近し

発電所通り 春日 ぶん

水澄みて色鮮やかに錦鯉

浦和市 登坂 博史

丹精をこめた大輪菊花展

野口 村越 春野

冬囲いしたる日射しの模様様

新町 井川 亘

熟れ柿をついばむ鳥に風荒し

上野 渡辺 朝

谷川の雪の使りもなつかしや

厚木市 川崎 保一

なべ囲み染しき仲の忘年会

仁田 羽鳥 美穂

熟年の手先器用の雪囲い 岩瀬 登坂伊智子

新年俳句募集

12月25日必着

◎題・読初

・福寿草

・新年雑詠

◎はがき一枚に五句以内

◎町内名、氏名を明記(雅号の人は本名も)

◎役場内・文書広報係か中央町・太田白南風あて

◎入賞者には、記念品贈呈

上野の入沢さんら

十八人に俳壇奨励賞

第四回本紙俳壇奨励賞受賞者

は、次の方がたに決まりました。

一年間一回も休まずご投稿(入選)されたみなさんです。

〈順不同、敬称略〉

内山 寛平(上野)

江口みゆき(小白倉)

中条 石平(大倉)

松浦 サク(八王子市)

金子 桂吉(伊勢原市)

田中 優美(板橋区)

村越 幸(野口)

藤田ひろ志(山野田)

野沢 静江(野口)

星名 春子(上野)

斎木 和人(高倉)

登坂 博史(浦和市)

入沢 はや(上野)

金子 鉄平(元町)

高橋 願似(上町)

川崎 保一(厚木市)

井川 亘(新町新田)

数藤 壮一(中屋敷)



明治からの古い歴史も掲載